

令和8年産

稲作情報 No. 4 十日町版

令和8年7月3日発行

十日町地域農業振興協議会

JA 魚沼、十日町市、津南町、

NOSAI 新潟魚沼支所、

十日町農業普及指導センター

LINE で情報発信中！

・水稲栽培情報
・消雪情報など

友達登録は
こちらから



暑い夏に負けないように穂肥で後期栄養を確保しましょう！

- 新潟地方気象台の「3か月予報」では、7～9月の気温は平年より高くなる見込みです。
- 夏の異常気象に負けないよう、**穂肥診断**を行い、**生育状況に応じた穂肥を施用**しましょう！
- 斑点米被害を防ぐため、**畦畔・水田内の除草と適期防除でカメムシ類を退治**しましょう！

1 出穂予想と穂肥時期

- 今後高温が予想されていることから、出穂期は**平年よりも早いと推測**されます。
- 最新の生育状況や出穂期予想は、十日町普及センターHPの稲作生育速報に掲載しています（7月8日、21日、27日、30日の夕方に発行予定。左記QRコードか下記URLを確認）
URL：https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/tokamachi_nogyo/suito.html

稲作生育速報HP



表1 出穂期予想※から見た穂肥施用時期のめやす（6月30日時点）

移植時期 (標高)	品種	出穂期予想	平年比(日)	穂肥施用時期のめやす	
				1回目(出穂期前の日数)	2回目(出穂期前の日数)
5月中旬植 (100m~200m)	五百万石	7月20日	やや早(-2)	6月30日(-20日)	7月8日(-12日)
	こがねもち	7月26日		7月8日(-18日)	7月16日(-10日)
	コシヒカリ	8月1日		7月14日(-18日)	7月22日(-10日)
5月下旬植 (300m~500m)	コシヒカリ	8月7日		7月20日(-18日)	7月28日(-10日)
	にじのきらめき	8月8日		7月9日(-30日)	7月25日(-14日)
	新之助	8月9日		7月19日(-21日)	7月28日(-12日)

※ 農業普及指導センターの調査ほのデータを用いて推測。

2 穂肥の考え方(コシヒカリ)

- 近年、異常高温と**出穂期以降の栄養不足に起因する品質低下**が増加しています。
- 後期栄養を確保するため、**分施肥系では2回目の穂肥は確実に施用**しましょう(表2)。
- 異常高温等で**葉色が低下した時は、分施肥系、全量基肥とも追加で穂肥を施用**しましょう。
- 穂肥の施用時期は、幼穂の長さや止葉の出方を確認して判断してください(表3)。

表2 穂肥の考え方

目的	施用時期 (出穂前日数)	分施肥系の場合		全量基肥の場合
収量向上 (籾数確保)	18~15日前	1回目	幼穂形成期の草丈と葉色から判断(図1)	—
品質向上	10日前	2回目	確実に施用	出穂10日前頃の 葉色が薄い場合は追加施用
	3日前	3回目	2回目散布後も葉色が薄い場合は施用	※有機50%入り全量基肥肥料は、葉色がさめやすいので注意

表3 出穂前日数の確認方法

出穂前日数	24日	20日	18日	12日	10日
幼穂長(cm)	0.1	0.4	1.0	4.0~6.0	8.0~10.0

幼穂形成期(24日前)

[幼穂長を確認]

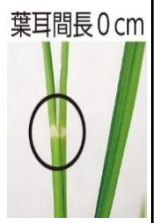
・18日前は約1cm



[止葉の出方を確認]

・止葉の先端が出始めたら約18日前

・止葉とその下の葉の葉耳が並ぶ(葉耳間長0cm)と約10日前



3 穂肥診断 (コシヒカリ)

分施肥系の場合

- (1) 1回目穂肥 (出穂 18~15 日前)
- **幼穂形成期の草丈と葉色から、穂肥量と施用時期を判断** しましょう。
 - 稲姿のめやすは、草丈 80cm 以下、葉色 (SPAD 値) 33 以下です (図 1)。

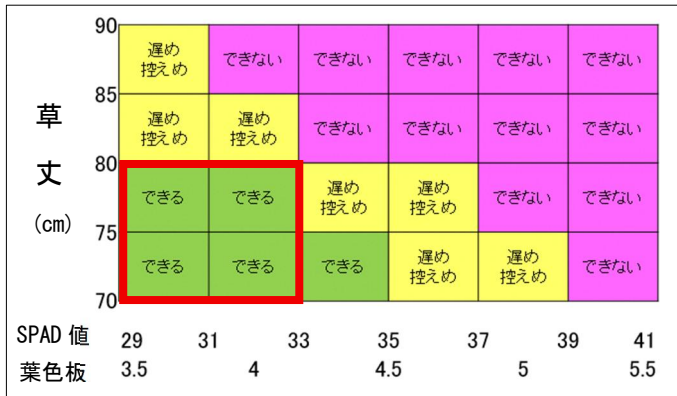


図 1 草丈と葉色における 1 回目穂肥施用めやす

- (2) 2回目穂肥 (出穂 10 日前)
- **基準量 (窒素成分 1.0~1.5kg/10a) を確実に施用** しましょう。出穂期 10 日前以降の穂肥は節間伸長に影響しません (図 2)。
 - ※ 施用時の **葉色 (SPAD 値) が 32 を下回っている場合は**、今後も高温が予想されるため、**窒素成分 2.0kg を上限に、確実に施用** しましょう。

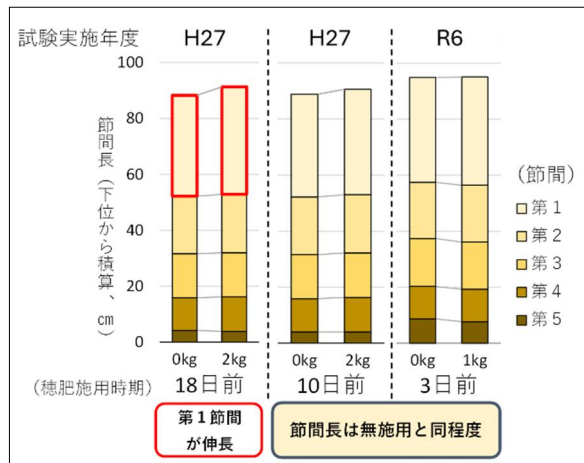


図 2 時期別の穂肥による節間長への影響 (作物研究センター)

表 4 穂肥施用例 (分施)

	出穂前日数 (日) ※	窒素成分量 (kg/10a)
1回目	18~15	0.7~1.2
2回目	10	1.0~2.0

※有機質の割合が50%以上の肥料は1~2日早く追肥!

出穂期 10 日前からは下位節間の伸長に影響しないね!



分施肥系、全量基肥共通

- (3) **葉色低下時の追加穂肥について** (分施肥系の 3 回目、全量基肥での追肥)
- **葉色が極端に低下した場合や、2 回目穂肥を施用しても葉色が薄い場合には、生育診断をしたうえで追肥** しましょう (表 5)。

異常高温時は全量基肥でも追加穂肥が必要!



表 5 葉色低下時の追加穂肥のめやす

	施肥体系				判断時期と葉色のめやす	施用時期 施用量のめやす
	基肥	穂肥①	穂肥②	穂肥③		
分施肥系	化学肥料				出穂期 3 日前 葉色 (SPAD 値) が 31 以下	出穂期 3 日前 窒素成分 1 kg/10a が 上限
	有機 50% 肥料				出穂期 6 日前 葉色 (SPAD 値) が 33 以下	''
	有機 50% 肥料			有機 100% 肥料	標準的な地力のほ場 出穂期 6 日前 葉色 (SPAD 値) が 33 以下 低地力ほ場 幼穂形成期 葉色 (SPAD 値) が 31 未満	出穂期 6 ~ 3 日前 窒素成分 1 kg/10a 出穂期 6 ~ 3 日前 窒素成分 2 kg/10a
全量基肥	施肥体系				判断時期 葉色のめやす	施用時期 施用量のめやす
	基肥	追加穂肥				
	化学肥料					
	有機 50% 肥料	有機 100% 肥料			出穂期 10 日前頃 葉色 (SPAD 値) が 30 以下	出穂期 10 ~ 5 日前 窒素成分 2 kg/10a

